

箕面市瀬川～茨木市豊川

●歩行距離／10.8km ●標準歩行時間／2時間42分 ※1時間4kmで計算しています

箕面市から茨木市へ国道171号に沿って進みます。道標が数多く建っている
ので、よい目印になります。街道からは離れますが古くからある霊山・箕面山は、
ぜひ訪れたいところ。名刹・勝尾寺のほか滝や周遊路もあり、特に紅葉の頃
には多くの観光客で賑わいます。小野原周辺は、街道の面影を残しています。

あめのこやねのみことじんじゅ
天児屋根命神社 通称:瀬川神社

藤原氏の祖神である天児屋根命(あめのこやねのみこと)が祀られています。また、神社の境内にある井戸は、龍が水を飲んで天に昇ったという言い伝えがあり、井戸を「龍の井」と称し、この宮は「龍の宮」とも呼ばれています。入口脇には、木の根に飲み込まれた小さな祠があります。

萱野三平邸跡 かやのさんべいといあと



忠臣蔵で「赤穂浪士48番目の義士」として知られる萱野三平の住居跡。三平は、仇討ちに加わる決意をしながらも父親の反対にあい、その板挟みとなって自害したと伝えられています。三平が自害した長屋門と土堀の一部が残されており、昭和48年(1973)、大阪府の史跡指定を受けました。

勝尾寺 かつおうじ



勝運の寺・勝尾寺は、古来より霊力が宿る聖山として信仰されてきました。神亀4年(727)善仲・善算が草庵を構え、光仁天皇の皇子・開成(かいじょう)が弥勒寺を建立、六代座主の行巡上人のとき勝尾寺となりました。都心に近い癒しの寺、紅葉の名所としても知られています。

ぼろ塚



「ぼろ」とは虚無僧のこと。ぼろ塚は、吉田兼好の「徒然草」第115段にある「宿河原」というところで敵同士であったぼろが出会って果たし合いをし、両方も討ち死にした」という話に由来するといわれています。現在では、二人のぼろが果たし合いをした場所として石碑が建っています。